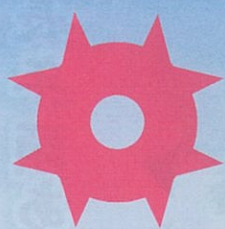


いかわ



議会 だより

No. 145

2021. 1. 1

新年号

謹賀新年

年頭のあいさつ	2
第4回定例会	3
常任委員会審査	4
一般質問（6議員登壇）	5
臨時会・陳情	12
議員研修会・現地視察	13
私のひとこと・議会のうごき	14

12月議会

(会期・12月3日～8日)

議長年頭あいさつ



正しい知識と希望をもって

議長 遠藤 政勝

年頭にあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

今年も大きな災害もなく、穏やかな一年になってほしいと願っておりますが、昨年から続く、想像もしていなかった新型コロナウイルス感染症の拡大は、私達のいままでの生活を一変させてしまいました。かつて経験していないこの状況は、日本だけではなく世界中に広がっております。あとは人類の知恵を結集したワクチンと治療薬の開発に期待しながら、それまでは個々の感染対策を万全にして、希望をもって生活したいと思っております。

さて、昨年は町議会議員の選挙があり、12名の議員中、4名が新しい議員に当選しております。

議会の使命は町の具体的政策を最終的に決定すること、議会が決定した政策を中心に行う、町の行財政の運営や事務処理ないし事業の実施が適正にしかも公平に効率的に、そして民主的になされているかどうかを、住民全体の立場に立って批判と監視をすることです。それは地方自治法の根幹であると考えます。

今年も町と両輪で、小さくとも安全安心で住みよい町づくりに努めてまいります。

町の課題はたくさんあります。まずは新型コロナウイルス対策、町の総合振興計画の策定、少子高齢化対策、定住化促進対策、災害対策、日本国花苑と旧小学校の活用、そして美しい農村社会の維持形成対策等、どれも一歩ずつ前進しながら解決していく必要がある課題だと思います。

議会は皆様の福祉を考え、皆様の立場に立って判断しながら活動を進めてまいります。

結びに、新しい年が一日も早く新型コロナも収束に向かうことと、皆様にとって幸多き年でありますように心よりご祈念申し上げます、新年の挨拶といたします。



町民皆様のご健勝

ご多幸をお祈りします

今年もよろしく

お願いいたします



議長 遠藤 政勝
副議長 浅野 義幸
議員 高橋 剛

松田 弘 咲
伊藤 俊 郎
石井 茂
三浦 晃
佐々木 昌子
驚谷 清利
草階 廣治
工藤 久兵衛
三浦 成利

事務局長 驚谷 仁美

(議席順)

消防団へトランシーバー更新

第4回定例会は12月3日(8日)の会期で開かれ、一般会計及び特別会計の補正予算等7件を原案どおり可決。

条例の一部改正3件、秋田県市町村総合事務組合規約の一部変更を可決。陳情4件を採択とし、意見書を関係機関へ提出することにした。

令和2年度一般会計補正は4,280万円を追加し、総額39億8,150万円とした。

歳出の主な内容は、告知放送システム保守委託、後期高齢者医療費、保育料支援費補助金、消防団通信器具購入費、学校図書購入費、下水道事業特別会計繰出金等の追加及び人件費、敬老式典費の減額。

歳入の主な財源は、前年度繰越金2,997万円、高齢者医療広域連合医療給付費返還金740万円、保育料負担金169万円、森林環境譲与税136万円等の追加。

令和2年度 各会計歳出予算表 (補正)

(単位：万円)

会計名	補正額	補正後の額	主な内容	
一般会計	4280	39億8150	人件費	△ 155
			町内振興費補助金	58
			告知放送システム保守委託	158
			敬老式典費	△ 101
			後期高齢者医療費	119
			介護保険事業特別会計繰出金	110
			保育料支援費補助金	169
			森林情報デジタル化推進事業負担金	71
			森林環境整備基金積立金	70
			下水道事業特別会計繰出金	3382
			消防団通信器具購入費	119
			学校図書購入費	149
国民健康保険事業特別会計	26	5億2906	一般被保険者療養費	22
国民健康保険診療所特別会計	0	1億1190	備品購入費	82
			医薬材料費	△ 109
介護保険事業特別会計	360	9億385	秋田県町村電算システム共同事業組合負担金	175
			介護給付費	85
			介護予防・生活支援サービス事業費	100
後期高齢者医療特別会計	323	6013	秋田県町村電算システム共同事業組合負担金	79
			後期高齢者医療広域連合納付金	244
下水道事業特別会計	3382	2億7432	消費税及び地方消費税	358
			公債費(繰上償還)	3024

(千円以下切り捨て)

総務産業・教育民生 常任委員会

各町内会に2万円支給 (コロナ対策として)

主な審査の内容

総務課

問 職員の特殊勤務手当に関する条例の改正は、新型コロナウイルス感染症だけに適用するか。その他の感染症はどうなっているか。

答 感染症に係る現行の手当は200円。コロナ対策として近隣町村を参考に、別の規定を設けた。(医療従事者一日4千円、消毒作業員一日千円など)

産業課

問 各町内会に支給される振興費2万円は、使い道が指定されているか。

答 コロナ対策として使用して欲しい。各町内会からは決算書を提出してもらおう。

問 狩猟免許所持者の推移と、今後の目標はどうなっているか。

答 「広報いかわ」や「まちづくり懇談会」での周知によって、今年度新規で4名増え現在19名。会員の高齢化が進んでおり、今後も増やしていきたい。

健康福祉課

問 保育料の無償化に伴い、町や保護者が負担する金額はどのように変化したか。

答 無償化の対象となる3歳以上の幼児については、新たに副食費の徴収が課されたが、これは町で全額補助している。3歳未満の乳幼児については、国や県の基準に当てはまらない方のみ

町民生活課

問 診療所の利用状況はどうなっているか。

答 月平均40人程。そのうち一般診療は13〜14名。他はインフルエンザの予防接種。医師の評判や対応は大変良いと伺っている。

教育委員会

問 消防団に配布するトランシーバーの性能と使用用途は。

答 市街地で500m、郊外で2km以内、30台同時通信可能。主に火災時と災害救助の際に使用する予定。

問 インフルエンザの予防接種を、フッ素洗口のように希望者を募って学校でできないか。

答 フッ素洗口と違い医師の診察が必要。かかりつけ医の診察を受けるのが望ましいと考える。受ける時期も個人差があり、現段階では難しい。



ブラックベリーを摘む園児たち (ことぶきベリー園)



捕獲した熊 (大台町内)

一般質問

6人の議員 一般質問

定例会初日に一般質問が行われ、6人の議員が町政について質問した。質問順に掲載する。

P6	三浦 晃 議員 1 防災上必要な町内河川の浚渫工事等、今後の整備計画について 2 町内会設置の街灯の維持管理、および負担軽減について
P7	鷺谷 清利 議員 1 高度な行政を目指すには 2 町道の管理について 3 リモートワーク移住を活用した町の活性化について
P8	高橋 剛 議員 1 井川町映画製作を支援する会補助金について 2 テレワーク移住について
P9	伊藤 俊郎 議員 1 有害獣被害に対する対策について 2 横岡児童館工事について
P10	石井 茂 議員 1 農業政策について 2 特別障害者手当等について
P11	三浦 成利 議員 1 除排雪作業について 2 分館、災害避難場所、消防設備について

白抜きの数字は掲載された質問です。紙面の都合により掲載できなかった質問など詳細は議事録で見ることができます。

議会事務局にお問い合わせ下さい。

◆一般質問とは◆

一般質問は、町の行政全般（一般事務）に関し、執行者所見や疑義について質問できるものである。

質問する議員も受ける執行機関も十分な時間が必要なことから通告制を採用し、事前に質問内容を通告することとしている。

井川町では、質問時間は、1人につき30分以内で完了することとされている。

質問は、時間内であれば再々質問までとされている。

町政のことが聞きたい

一般質問

町内河川の整備は

しゅんせつ
浚渫工事等総合的に判断



うらみ 三浦
あきら 晃
議員



土砂が堆積した井川本流（井内地区）

三浦 町内を流れる井川については、堆積した土砂を取り除く浚渫

町長 町内の河川については、河川に接する町内会からは浚渫、伐木、堤防嵩上げ、河川改

工事や繁茂した葦、樹木の除去など、防災上、増水時に備え、改修工事が必要な箇所が多くある。
県管理の河川と町管理の河川があるが、流域全体で緊急に取り組む必要があると考える。県への働きかけ等、現状は。

三浦 町内に設置されている街灯について、現在、町管理578基と各町内会管理343基がある。
要望に基づき、設置後の維持管理は各町内会が負担することを了解して

町長 町内会設置の街灯については、以前の定例会でも負担軽減に

街灯の維持管理費の負担軽減を LED化で負担軽減

町が設置したものが、年会費収入が減少しているなか、負担軽減を考えていないか。

町長 今年度、町の総合振興計画ならびに総合戦略を策定しているが、このなかで町内会管理の街灯のLED化を令和7年度までに50%以上にする数値目標を掲げることになっている。
現在、町内会管理のLED化率は10・5%であり、順次LED化を進め目標を達成したい。省電力、低コスト、長寿命で、試算だが電気料も現在より大幅に下がり、負担軽減を見込んでいる。

修の要望など、毎年いただいている。
該当箇所は、ほぼ県管理の河川部分であり、本町においても県に要望している。県事業であるため、予算や県内河川の優先順位等で事業が実施されていくが、令和元年度は赤沢川の一部が浚渫され、また令和2年度からは優先度の高い寺沢町内の井川の浚渫に変更し事業を行うと聞いている。
県管理河川との合流部分や下流部への影響も考慮しながら総合的な観点

で進めていく。
町が管理すべき菅生沢川等の浚渫は補助事業を活用し進めていきたい。
三浦 増水時の河川の水害危険度、優先度の基準というものはあるか。
町長 明確な基準はない。増水時に危険な箇所は把握している。町内会からの要望等、総合的に勘案しながら県に要望している。

ついて前向きに検討する旨、回答している。受益者負担の考え方から町内会から要望のあった街灯設置については、設置費用は町負担、電気料、修繕費等の維持管理費を町内会負担としているが、町内会により設置台数等が異なり、維持管理費も違っている。
三浦 電気料金の負担軽減や省エネの観点から、照明器具のLED化を進めていく必要があると思うが、現状と今後の整備計画は。



一般質問



きよとし 清利 議員
やしや 鷺谷

若手職員を早期育成し高度な行政を 向上心を持ってスキルを高めていく

鷺谷

若手職員は先輩職員の教えを肥やしにステップアップして、さらに質の高い職員をめざさなければ高度な行政は望めない。

本町では正職員が69人、任用職員等が56人の合計125人体制で業務に従事している。日々の仕事に追われ、職員同士の交流、打ち合わせ、勉強会が行われていないのではないかと。先輩の貴重なスキルをスムーズに後輩に移行できるガバナンスはできているか。個々の職員がそれぞれ異なる仕事をしているので、歴代担当職員連絡協議会(仮称)を設置して、定期的に勉強会を実施す

るなど担当職員がいち早く執務内容を把握する体制づくりを考えてはどうか。

町長

先輩職員のスキルを若手職員に引き継ぐことは大変重要で、職員はあらゆる分野に関心を持ち、様々な知識を習得することが必要である。

また、事務引き継ぎ書の内容については私と課長が厳しくチェックしている。職員の成長は日々の業務の中で感じている。

鷺谷

職員の年齢別構成は39歳以下が35人で40歳以上が34人の約半々の構成になっているが、如何に早く若手職員を一人前にできるか、その方法は。

町長

若手職員でも個人の高い職員もいる。それぞれの職員が一人前の仕事をしていると思っ

町道の管理は適切か 路肩の草刈など適宜実施している

鷺谷

町道の路肩の草刈については適期に実施していないため、雑草が伸び放題で危険であり、歩道設置箇所も歩道幅が狭められ歩きづらくなっている。集落間の草刈については地域の町内会に委託して実施してみたかどうか。

また、路肩の崩壊箇所もあるので、舗装の穴埋

め等含めて、一斉点検補修すべきでないか。

また、未相続や抵当権設定等により町道用地に未登記箇所はないか。あるとすれば、世代交代により問題が発生する前に処理すべきでないか。

町長

町道の路肩の草刈については、一部区間は町内会や土地改良

区に委託して実施している。その他についてはシルバー人材センターに委託して実施している。集落間の路肩の草刈を実施したい町内会があれば相談していただきたい。

また、路肩の補修については道路パトロールを実施しており、緊急性の高い箇所から実施している。舗装補修については委託による補修計画を立て、実施している。

また、未登記の道路用地については今後調査して処理していきたい。



雑草により幅が狭くなった歩道



路肩盛土がくずれた町道

一般質問

ロケ地の旧小学校をどう活用

部分的に開放の可能性も



たかはし
高橋

つよし
剛
議員

高橋

「井川町映画製作を支援する会」には、補助金として1,000万円があてられ、現在390万円弱の支出だが、今後残りの610万円ほどは、どのような形で利用するということなのか。また、以前「ロケ地である旧小学校を見学場所として開放したい」との考えはある」とのことだったが、まだ備品などが片付けられていない場所もあり、そのままでは開放できないような印象であった。

町長

補助金であるということから、適正かつ有効に活用してもらいたいと考えている。映

画の公開が来年秋に延期されたこともあり、時期を見計らいながら支援活動、PR活動が実施されると期待している。旧小学校の開放だが、具体的な内容は時期もあり、まだ決まっていないが、関係者と協議を継続して行っている。開放といっても校舎全体を開放するのではなく、撮影場所として使われた体育館、高学年棟、職員室等の部分的な開放ということを念頭に置いて取り組んでいきたい。

高橋

開放してただ「ご自由」に御覧下さい「だけ」という訳にはいかないと思うが、清掃や空調の整備など、見ていただくための工夫は考えているか。

町長

旧小学校の活用の検討はしているが、その中で空調整備をするということになれば、通常の施設とは違い、学校の空調設備なので大規模な手入れが必要になる。設備改修はなかなか難し

いのではないかと思っ
る。内容については、
だ見てもらうだけで
なく、体験できるよ
のを検討している。だ
例えば食事の提供や
体験

コーナーを作るとな
職員がなかなか対応
ないというような課
ある。民間企業の協
なかなか難しいだ
協力したいという方

募集しても、レベル
が保てるか、お客さ
迎えても逆に残念だ
と言われることが無
という課題もある。内
では、まだ検討中

テレワーク移住

井川町では

容易には取り組めない

高橋

新型コロナの影響で「テレワーク」が広がっている。空き家や使わなくなった施設を利用してテレワーク施設を整備している所もあると聞くが、井川町ではそういう取り組みは行わないのか。また、テレワーク移住

町長

「テレワーク」による地方への移住が注目されていることは承知している。井川町において、施設整備や空き家活用という部分は容易には取り組めないことと、なぜ井川町でリモートワークをするか、なかなかハードルが高い。移住促進のための補助金ベースになってテレワーク移住が増えているのは承知しているが、町としては、「なかなか住む所がない」といった課題があったため、テレワーク移住の補助金というものは現時点では考えていない。

に対しての補助金というものは考えているか。



完成間近の定住化促進住宅



一般質問

急増有害獣被害 どうする

情報共有・住民一体で対応



いとう 俊郎
伊藤 俊郎 議員

伊藤 今年、本町の寺院や民家にもハクビシン被害が発生し、多大な被害を与えた。

また、本町における有害駆除対策は、4月のハクビシン駆除から10月末までの長期に亘り行われた。その結果、ハクビシン17匹、クマ6頭、タヌキ3匹を駆除した。要した人員数は242名であり、残念ながらイノシシを捕獲することはできなかった。

被害を防ぐためには、有害捕獲と並行して、地域住民が一体となった取り組みが重要であり、行政・住民・猟友会などの情報の共有が必要と考えるが、町長の考えは、猟友会員はそれぞれ仕



捕獲されたハクビシン (体長97cm)

事を持っており、時間的にも駆除対策に苦慮しているのが現状である。ICTや監視カメラ等の導入を行うと共に、会員に対する処遇改善等を図りながら、害獣対策を強化するべきと考える。また、害獣出没マップを作成し活用することで、各被害防止に役立つと考えるが、町長の考えは、

町長 近年、鳥獣被害は増加傾向であり、対策は急務と承知している。農作物被害の他に、

ハクビシン被害も発生し、民間業者で対応する事案もあった。被害を防ぐには、情報の共有化や住民一体となった取り組みが重要である。また、有害駆除におけるICTの活用については、前向きに検討したい。害獣マップ作成については猟友会と協議したいと考えている。クマ、イノシシ等の目撃情報は、猟友会や近隣自治体等と情報共有が必要であり、今後も取り組んでいく。

横岡児童館工事

着工はいつ

再入札で業者決定

伊藤

大台地区生活改善センターの建て替え工事は、既に行われているが、横岡児童館は、まだ解体工事も行われていない状況である。住民の方々は、いつ工事に着工し、いつ完成するのか分からないとのこと、大変不安を抱いている。何が原因で着工が遅れているか、また、年度内には完成する状況なのか、住民に説明し、1日も早く完成させ使用できるように取り組むべきと考えるが、町長の考えは、

町長 現在、横岡児童館及び大台生活改善センターは、備蓄倉庫を持たせた防災拠点施設として建設工事を進めている。横岡町内においては、設計変更、予算補正、入札不調の結果として工事の進捗が遅れている状況



未着工の横岡児童館

であるが、11月24日の再入札で業者が決定した。現在は、町内会長をはじめ関係者との情報共有を行っているが、工事の遅れについては、町内会長を通じて近隣住民、町内の方々に伝えていただくことを想定している。なお、完成予定日は、大台町内は2月20日、横岡町内は3月20日となっている。

一般質問

非主食用米への誘導策は 農家が満足する施策は難しい



いしげろ
石井 茂
議員

石井 米の作付けは農家個人の判断になり、自治体はその判断に資する情報を提供する役目となっている。今年産米は需要減少による在庫の増加が見込まれ、60kg当り1,300円も下がるといわれている。来年产米の価格は、今年以上にはならないという声もある。

農家の高齢化は見ての通りで、米以外の作物をと言われても無理がある。

米価を安定させるためには主食用米の過剰を抑える必要がある。情報の提供と共に、非主食用米に誘導する策が必要。町独自の補助金創設など、何か策を考えているか。

町長 主食用米の過剰作付けにより、米価が下落することは誰も望んでいない。米価の安定は、日本の米政策全体の中で考えるものと理解している。

農家の状況を思えば、国による下支えがもつと必要であると感じているので、今後更なる支援や上乘せ助成などを強く要望していく。

非主食用米への誘導の必要性は理解している。町単独の助成については、仮に実施したとしても一時的なもので効果が薄く、財源を考えると農家が満足する補助は現実的でないと考えます。

石井 柔軟な国の補助金（産地交付金など）活用を考えてはどうか。

町長 検討はするが、農家が満足する施策にすることは難しいと考える。

特別障害者手当 対処と周知は

県の福祉事務所で管理

石井 精神や身体に極めて重い障害があつて、常時特別な介護を必要とする人に、月2万7,350円が支給される「特別障害者手当」制度がある。国の制度だが判断するのは自治体とのこと。

「障害者手帳がなくても、要介護4や5の高齢者でも、在宅でなく、グループホーム・在宅型有

料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅などに入居でも申請可能」とホームページで紹介している自治体もあれば、「在宅でなければダメ」、「高齢者はダメ」と、自治体によって対応がまちまち。

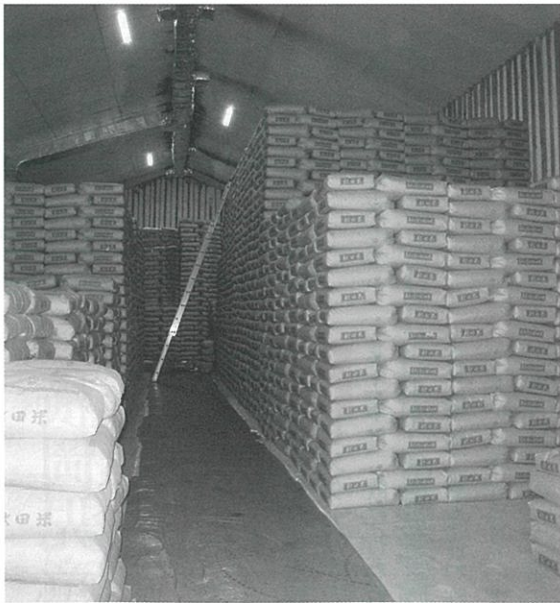
町としてこの制度にどう対処し、どのように周知させているか。

町長 「特別児童扶養手当等の支給に関する法律」第26条の2に基づき、本町は福祉事務所を管理しておらず、事務は県の福祉事務所となっている。町において申請は受け付けるものの、手続き書類などについては県の福祉事務所に送付され、国の基準により同一に判定される。

制度の概要をホームページに掲載している。支給要件のハードルが高く、該当する方はほとんどいない現状で、個別に対応というのが実情。現在の受給者は7名。

石井 税金の申告時に使用する「控除対象者認定書」の発行状況はどうなっているか。

町長 今年も対象となりうる273名の方に既に通知している。昨年度は290名に申請書を送付し、220名が申請。219名に認定書を送付した。申告に間に合うよう作業している。



どうなる今年の米価（JAあきた湖東下井河低温倉庫）



一般質問

除排雪対策は

町内会、町内業者と連携



なりとし
成利
議員
うら
三浦
み

三浦

高齢化に伴い町として、独り暮らしや高齢者などの雪寄せが困難な方々に、除排雪の手助けの方法、対応策はないか。

町長

独り暮らしの高齢者でなかなか雪寄せが難しいという方々については、社会福祉協議会、包括支援センター、民生児童委員等が訪問等を行って情報を得ている。シルバー人材センターにお願ひして除排雪作業を数人行っている。町内会で作業するところについては、小型除雪機を貸し付けている。

三浦

冬期の交通安全対策、災害避難対策

など、町民のより良い交通利便のために、町で考えていることはないか。

町長

吹き溜まりの発生が予想される場合に出動、巡回バス路線は午前6時まで、通常路線は午前7時までに除雪を終了する。除雪順等も細かく規定。町内会より除雪に関する要望をとっている。町内業者と連携を取りながら道路状況、パトロールをしっかりと行いながら、きめ細かい対応をする。

三浦

除排雪委託業者への予算を算出する際に、指定業者などと話し合い、適正な費用を出しているか。

町長

何をもって適正な費用なのか難しいことであるが、算出根拠というものをしっかりと積み上げ、業者にお願いしている。

消火活動に 支障が生じる場所はないか

消防署と情報共有

三浦

消火活動が手薄になってしまふ場所が町の中で数箇所あるが、被害軽減を図り、町全体滞りなく消火活動が行えるように消防署と連携して行っているか。

町長

町内の中には、消火作業に不安が残る場所がある。消防団や消防署と話し合い、要望はしっかりと把握している。情報共有を図って防火意識を高める内容も話し合われている。

三浦

気象災害による避難場所の見直しが必要と思うが、町としての考えは。

町長

町の防災計画も修正および見直し作



大規模災害時には危険箇所となる井内運動公園施設

第3回 臨時会

10月22日

● 5議案を可決 ●

物品購入契約の締結
について

井川町役場マイクロバス
購入
1台800万8千円

全員可決

令和2年度井川町一般
会計補正予算について

610万円を追加し、
39億3,870万円とする

【主な内容】

- ・彫刻修復作業委託等
171万5千円追加
- ・防災拠点施設整備工事
398万9千円追加

全員可決

令和2年度井川町介護
サービス事業特別会計
補正予算について

643万2千円を追加
し、2億9,953万2
千円とする

【主な内容】

- ・新型コロナウイルス感
染症対応従事者慰労金
320万円追加
- ・新型コロナウイルス感
染症対策支援金
323万2千円追加

全員可決

物品購入契約の締結
について

職員テレワーク端末
等機器購入

タブレット53台等、
1,236万4千円

全員可決

第4回 臨時会

11月27日

● 2議案を可決 ●

井川町一般職の職員
の給与に関する条例
の一部を改正する条
例について

一般職の職員の期末手
当の支給率を100分の
5引き下げる。また令
和3年度以降について
は、6月及び12月に支給
する期末手当の支給率を
100分の2.5ずつの
引き下げとする

全員可決

井川町議会の議員の議員
報酬及び費用弁償等に關
する条例等の一部を改正
する条例について

一般職の給与改正に伴
い、「井川町議会の議員
の議員報酬及び費用弁償
等に関する条例」

「井川町特別職の職員
で常勤の職員の給与及び
旅費に関する条例」に係
る期末手当の支給率を
100分の5ずつ引き下
げる。また、令和3年度
以降については、6月及
び12月に支給する期末
手当の支給率を100分
の2.5ずつの引き下げ
とする

全員可決

陳情

12月定例会に4件の陳情書が提出され、
審査の結果全陳情を採択とし、関係機関に
意見書を提出した。

採択……全員一致

◎安全・安心の医療・
介護の実現と、国民
のいのちと健康を守
るため、国に意見書
提出を求める陳情

秋田県医療労働
組合連合会

執行委員長
石川 洋基

◎75歳以上医療費窓口
負担2割化の中止を
求める国への意見書
提出の陳情

秋田県社会保障推
進協議会

会長
佐藤 幸美

◎「新型コロナウイルス
感染症を教訓に感
染症対策を含めた地
域医療構想に見直し
すること」を国に求
める意見書提出の陳
情

秋田県社会保障推
進協議会

会長
佐藤 幸美

秋田県社会保障
推進協議会

会長
佐藤 幸美

※第3回臨時会における
専決処分の承認

令和2年度国民健
康保険井川町診療所
特別会計補正予算
※予算の総額は変更
しないが、歳出予
算の款項の金額を
補正する

- ・医師報酬
639万8千円減額
- ・費用弁償
48万円追加
- ・診療委託
591万8千円追加

コロナ禍で今年度初めての 議員研修会開催される！

去る10月22日、役場大会議室に於いてコロナ対策に万全を期し、講師に秋田県議会事務局次長伊藤 徹氏を招いて「地方議会のしくみと運営について」と題して講演をしていただいた。その主な内容について列記する。

一、議員定数について

平成23年に法定上限数は撤廃され、令和元年の実態調査によると、人口5千人未満の町村の全国平均は8・9人となっているが、住民の声を行政に反映させる議会の役割を考慮すると、必ずしも少ないほうが良いこととは言えない。

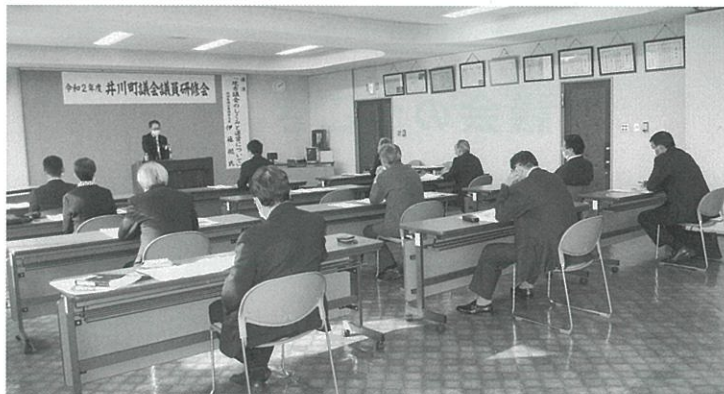
三、秋田県議会の議会改革

県議会では平成23年から年2回の通年議会制を採用し、緊急の行政課題に備えている。平成26年からは県民との意見交換会を開催している。政務活動費もインターネットで公開している。

二、議会の権限

議会の権限の中で監視権があるが、監査員の監査、検閲検査権として地方自治法第98条第1項の規定により行政の事務執行、出納についての検査ができる。調査権として自治法第100条第1項の規定により強制的に調査ができる。

これに対して質疑が行われ、議員からは「議会改革の方法について」と問われ、「議会運営委員会で話し合われ決定している」と答えた。また「議員の発言の取り消しについて」と問われ、「議事録には記載されるが、公開書類からは削除している」と答えた。さらに「年2回の県議会の通年制



のメリット・デメリット」と問われ、「デメリットはなく、いつでも議会が開けるため、専決処分はないこと。常任委員会の日数が増えたこと。議員の旅費については本会議のみ支給としたこと」と答えた。最後に「政務調査費の是非について」と問われ、「議員の普段の調査研究活動や住民意思の把握のため必要だ」と答えた。時間をオーバーしての研修会となり、たいへん勉強になった。

町内現地視察

10月30日、町内現地視察を行った。各常任委員会より要望のあった場所を、議会運営委員会で協議し6カ所を選定。12月議会的一般質問や常任委員会審査に活用された。

河川改修

- 寺沢橋く中ノ目橋（県単事業として年度内に着工予定）
- 菅生沢1号橋く井川合流部（井内町内会より要望有り）

非常時用備蓄品置場

- 老人福祉センターゆうゆう
- 救援物資保管センター（役場庁舎前倉庫）

施設の利活用

- 旧小学校舎
- 歴史民俗資料館



県単事業が決まった中ノ目橋付近（寺沢町内）

ひとこと

私の

学校の歴史に立ち会う



井川義務教育学校校長
(赤沢町内出身)

三浦 智

今から47年前、できたばかりの井川小学校に夏休み明けの8月から入ったことを今でも鮮明に覚えている。そういえば、私が小学校3年生のとき、なにやら新しい校歌を覚えたり、西小学校との交流会があったりした。何もわからないうま4年生になると、なんとスクールバスで井川西小学校(現役場付近)に通うことになった。スクールバスに驚きはしたものの、1学年が100人を超えての学校生活になったくらいしか思わなかった。しかし、新しい井川小学校に入ったときの驚きは、コンクリートの壁に始まり、水洗トイレ、食堂など見るものに目を奪われ、新鮮でかつ楽しい学校生活を送ることができたことを覚えていた。当時の給食は、赤い弁当(副菜)と黒い弁当(ごはん)があり、カレーライスもまた弁当に分けて詰められていたことも驚きであった。

それから、13年後に初めて教員として戻ってきたときには、校庭にはアスレチック遊具があり、プールもできていた。まだ、樹木がそんなに大きくなっていないかつたのでグラウンドの裏山や校門の横の斜面で子どもたちとミニスキューや肥料袋でそり遊びをして楽しんだ。

そして、7年前、再び井川小学校に勤務したときは、小学校から義務教育学校移行に向けた動きの真っ只中。

県内初の義務教育学校は、1年生から9年生が1つの学校で生活する新しいスタイルを模索して開校して3年が過ぎようとしている。そして、今年、新型コロナウイルスの影響で更に学校生活も変化した。町や教育委員会の全面的な支援により、今年夏休み以降に児童生徒全員がタブレットPCを活用できる環境が整えられた。

こうして見ると私は井川町の学校が進化していく場面に奇しくも立ち会える幸せな時を過ごしてきた。井川義務教育学校がこの後どのように進化していくのかが楽しみでならない。



議会のうごき

- 10月14日 湖東厚生病院運営委員会(五城目町:グリーンロイヤル丸富)
- 19日 井川町緑化並びに環境美化促進事業記念植樹(旧小学校)
- 19日 秋田県町村議会議長会理事会(秋田市:県市町村会館)
- 22日 第6回議会運営委員会(役場:正副議長室)
- 22日 第3回井川町議会臨時会(役場:議場)
- 22日 井川町議会議員研修会(役場:大会議室)
- 30日 井川町議会議員 現地視察(町内)
- 11月6日 第2回「井川町地域福祉計画・井川町地域福祉活動計画」策定委員会(役場:住民相談室)
- 16日~17日 定期監査(役場:小会議室)
- 18日 井川町福祉会理事会(農村環境改善センター)
- 19日 秋田県森林・林業・林産活性化推進議員連盟連絡協議会総会(秋田市:秋田ビューホテル)
- 19日 秋田県知事と町村議会議長との行政懇談会(秋田市:県市町村会館)
- 20日 義務教育学校開校記念講演会(義務教育学校)
- 24日 秋田県関係国会議員に対する要望活動(東京都:衆参議員会館)
- 25日 第64回町村議会議長全国大会・第45回豪雪地帯町村議会議長全国大会(東京都:NHKホール)
- 26日 第7回議会運営委員会(役場:正副議長室)
- 26日 南秋田郡町村議会正副議長並びに事務局職員合同研修会(大湯村役場)
- 27日 第8回議会運営委員会(役場:正副議長室)
- 27日 第4回井川町議会臨時会(役場:議場)
- 27日 議会だより編集委員会(以降4回)(役場:小会議室)
- 27日 湖東地区行政一部事務組合議会定例会(湖東消防本部)
- 28日 井川町体育協会創立50周年記念式典(農村環境改善センター)
- 30日 井川町農業再生協議会総会(役場:大会議室)
- 12月3~8日 第4回井川町議会定例会(役場:議場)
- 15日 井川町福祉会功労者表彰並びに永年勤続者表彰式(農村環境改善センター)
- 22日 八郎潟町・井川町衛生処理施設組合議会定例会(八郎潟町役場)
- 22日 八郎湖周辺清掃事務組合議会定例会(クリーンセンター)

編集後記

謹んで新年のお慶びを申し上げます。旧年中は議会だより編集委員会に温かいご指導をありがとうございました。町民各位には、多くのことを学ばせていただきました。編集委員会一同飛躍の年とするべく、読みやすい紙面づくりに一層努力してまいります。皆様のご健康とご多幸をお祈りし、ご挨拶とさせていただきます。

(三浦 成利 記)



- 発行責任者 遠藤 政勝
- 編集委員長 鷲谷 清利
- 副委員長 佐々木 昌子
- 委員 石井 茂
- 委員 伊藤 俊郎
- 委員 三浦 成利
- 委員 高橋 剛